

# イメージレポーター<sup>®</sup> PRO

捜査支援に特化して培ってきたソフトウェアデザイン力に磨きをかけプロフェッショナルな機能を簡単操作で扱える鑑識・科学捜査部門向け画像処理ツールの決定版。



## 読み込み力 多様な「読み込み力」でお応えします。

- ビデオ機器からの直接取り込みに対応
- 様々な形式の動画・静止画に汎用的に対応
- 読み込み可能なファイル形式をサーチする“強制読み込み機能”
- 各社ハードディスクレコーダー(DVR)の独自形式データ読み込みに対応



ハードディスク型のデジタル防犯ビデオレコーダーが主流となり、これまでアナログ形式(VHS規格など)のテープに記録されていた映像がメーカー独自形式の動画データとして保存されることで、それに合わせたパソコン専用ビューワソフトが必要なケースが増えていきました。イメージレポーターでは、それらメーカー固有の専用ビューワソフトを使用することなく、メーカー機種ごとに弊社独自に開発したDVR読み込みエンジンを搭載して、イメージレポーター上の共通画面で、操作・処理することを可能にしています。

※読み込み対応エンジンは、市場ニーズ、ユーザー要望により随時開発を行い対応機種を増やしてまいります。(保守サポート契約の範囲でのご提供となります)

## 操作性 優れたインターフェースによる「操作性」でお応えします。

- 直感的な操作で使える“優れたインターフェース”
- 映像の取り込みから画像処理、報告書作成、画像印刷までを“ワンストップ”
- 処理履歴を記録した作業報告書の作成・印刷機能

イメージレポーターでは、行った画像処理履歴を内部に保存し、作成・印刷する作業報告書内に記録表示することで画像処理結果の再現性を担保しています。イメージレポーターを使えば、煩わしい処理作業報告書作成作業は必要ありません。

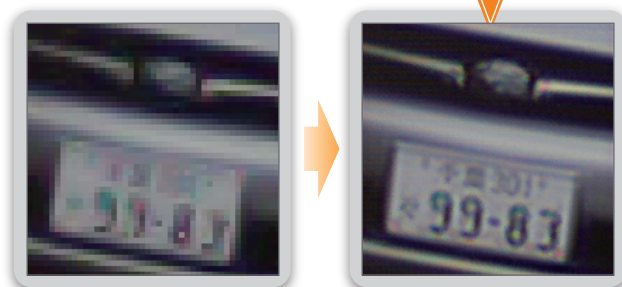
※報告書テンプレートは、レイアウトなどのカスタマイズが可能です。(保守サポート契約の範囲でのご提供となります)



## 鮮明力 先進的画像技術による画質改善—「鮮明力」で対応します。

- 暗い画像、逆光で黒つぶれした画像を補正する“暗闇補正”  
色恒常性法による自社エンジンを使用
- 霧、もやなどで判別しにくい画像を補正する“かすみ補正”  
TakumiVision株式会社 アウルアイエンジンを使用
- JPEG画像のブロック、モスキートノイズを除去する“JPEGノイズ除去”  
全変動ノルム手法による自社エンジンを使用
- 夜間撮影されたデジタル映像特有のCCDノイズを除去する“熱ノイズ除去”  
立命館大学 陳教授・韓研究員の研究成果を基にした画質改善技術を使用
- アナログ映像の縞ノイズを処理する“デインターレース処理”
- RGBモード+RGB単独チャンネルによる“トーンカーブ”
- 色かぶりを補正する“ホワイトバランス”
- 広角、超広角、全周魚眼レンズ歪みに対応する“ひずみ補正”

低フレームレートに対応した  
手動位置合わせ処理が可能 “超解像処理”



「超解像」とは、マルチフレームの映像の中から情報を抽出、埋もれた輪郭を再現し、高解像度画像を出力する技術です。

・この技術は、東京工業大学 / 奥富・田中研究室による特許技術を使用しています。